

# 古川なおきレポート



横浜市議員 古川なおきの 政務調査報告

一月刊 2010年8月1日

## かがやけ横浜こども青少年プラン

暑い日が続いていますが、皆様お元気ですか！  
古川なおき事務所も新しいインターンの大学生8人とともに元気に活動しております。

さて、今回は最近ニュースになっている児童虐待事件や待機児童対策に関し、子どもに関する横浜市の施策と子どもを取り巻く環境について思ったことを書かせていただきます。

### ●昔は地域全体での子育てでした

言うまでもなく子どもは将来の社会を担っていく尊い存在です。しかし、人間の成長過程は他の動物と比べても非常に手がかかり、しっかりした大人になるまで十数年かかります。以前は祖父母との同居や隣近所のお付き合いも親密でしたので、多くの大人の目が子どもに注がれていました。私も生まれた時から祖父母と同居していて、親が4人いる状況でした。お風呂は小学校1年生位までは祖母と一緒に入っていました。近所のおじさんやおばさんに道で会えば駄菓子を買っていただいたり、芝畑で野球やサッカーをして怒られたことも今となっては良い思い出です。昔は家族だけでなく、地域社会全体で子どもを育てていたように思います。しかし、核家族化、夫婦共働き、一人親の増加、地域のつながりの希薄化など、ここ数十年の間に子どもを取り巻く環境が急速に変化してしまい児童虐待など様々な問題が発生してきました。

### ●横浜市は「かがやけ横浜こども青少年プラン」を策定

国は、子どもが健やかに生まれ育つ環境を整備するために、次世代育成支援対策推進法を平成15年に制定し、各市町村に次世代育成支援行動計画を策定するよう求めました。横浜市ではこの法律に基づき平成17年度に「かがやけ横浜こどもプラン」を策定し、今年6月に前期の行動計画を見直し、「かがやけ横浜こども青少年プラン後期計画」を策定しました（平成26年までの計画）。この計画では主に以下の取り組みです。

- ①希望する人が必要な時に保育サービスを利用することができるよう保育所を整備し、今年の4月時点で1552人の待機児童を平成25年4月までにゼロにする。
- ②子育て中の親子がいつでも利用できる地域子育て支援の場（週3回以上開設）を概ね中学校区に1か所設置。

- ③「放課後キッズクラブ」「はまっ子ふれあいスクール」「放課後児童クラブ」の活動内容を充実するとともに、19時までの放課後の居場所を整備。
- ④虐待防止と在宅支援のために育児相談やショートステイなどの預かりサービスを行う「強化型児童家庭支援センター（仮称）」を9か所新設。
- ⑤障害児とその家族を支えるために市内所管の重症心身障害児施設の定員を約150人増やす。放課後や夏休みなどのびのびと過ごせるよう居場所を整備。

子育ては子どもの年齢や家庭の状況により、支援が必要な内容は多様ですが、各区に子育て支援拠点（旭区ではひなたぼっこやぼけっと）を設けたり、地域ごとに赤ちゃん教室や子育て相談を開催するなど、昔にはない事業も行われるようになってきています。今後は上記プランの計画が着実に実行できるよう、応援していきたいと思えます。また施設整備などのハードだけではなく、支援の内容や子どもに関わる職員のモチベーションなどソフト面にも注目して、子どものための施策になっているかも考えなければなりません。こども青少年局に期待したいと思えます。皆様のご意見もぜひお聞かせ下さい！

### ●一人の力は小さいけれど皆でやってみましょう！

児童虐待等の問題はその親を批判するだけでは何も改善しないと思えます。そうした人が何故育ってしまうのか、事件の背景を考えなければならぬと思えます。一人一人の力は小さいかもしれませんが、自分自身は何かできることはないか、みんなで考え実行すれば社会は変わるように思えます。昨今は暑い日が続いているためか、電車の中でもいらいらされている方が多く、時々怒鳴り声を聞くことがあります。私自身はできていませんが、もっと人にやさしく、忍耐強く、思いやりを持って生きていきたいと思えます。希望にあふれる無限の可能性を持った子どもたちのためにも！

横浜市議員 古川 なおき

**インターン生募集！**  
古川なおき事務所では、古川なおきの政務調査をサポートしていただけるインターンの大学生を募集しています。  
ご家族からの推薦も受け付けています。事務所へ連絡ください！

古川なおき

県立希望ヶ丘高校・明治大学 卒業/明治大学公共政策大学院 修了  
横浜銀行勤務後、衆議院議員松沢成文（現在神奈川県知事）秘書  
平成7年4月 横浜市議員初当選（26才最年少）  
平成19年4月 4期連続当選  
現在 平成22年 市民・消防委員会 副委員長  
同 市会運営委員会 理事  
自民党横浜市議員団所属  
横浜市会 F C キャプテン（対戦チーム募集中！）



みんなで健康増進！& 市政について気軽に語り合いませんか？  
政務調査活動の一環として「市民の皆様のご意見を」「直接うかがう」

### 朝ウォーキング

日時：9月18日（土）朝7～8時半  
集合場所：こども自然公園（大池公園）正面入口  
★参加ご希望の方は、当日直接、集合場所にお集まりください。



# 敬老パス (敬老特別乗車証) についてご意見をお聞かせ下さい!

敬老パスは、健康・暮らし、生きがいの足。70歳以上の方、約33万人の皆さんが外出に利用しています。しかし財政を圧迫するため、横浜市から見直し案が出されました。

## 現行制度の内容

- ・市内に住む70歳以上の希望者が対象です。
- ・市営バス、市営地下鉄、民営バス14社、シーサイドラインで使用できます。
- ・対象者は約50万人。うち交付者は約33万人で交付率は66%です。

所得区分	負担額
①障害者・生活保護受給者等	無料
②市民税非納税者	3,200円
③合計所得金額250万円未満	6,500円
④合計所得金額250～700万円	8,000円
⑤合計所得金額700万円以上	19,500円

横浜市は  
検討して  
います。



## 見直し案の内容

- 案① 個人負担額の値上げ  
所得に応じ、無料～3万円へUP
- 案② 75歳へ対象年齢の引き上げ
- 案③ フリーパス方式またはワンコイン式の選択制  
フリーパス方式…年間12000円でバス乗り放題等  
ワンコイン式…乗車1回ごとに100円負担

敬老パスの事業は横浜市、利用者、事業者が協力しあって、現在年間100億円の予算が組まれています。内訳として、横浜市が85億円、利用者の負担が年間約15億円(負担額年3200円の方が50%)、事業者が敬老パス利用者の運賃を割り引くことで成り立っています。

下記にご記入のうえ、ご意見をFAXにてお送りください。

### 70歳以上の方へ

Q1 敬老パスを持っていますか?

- ①持っていない→その理由は? a. 利用者負担額が高い b. 利用交通機関が少ない  
c. 理由があり利用できない
- ②持っている →利用回数は? a. ほぼ毎日 b. 週に数回 c. 月数回 d. 年に数回



Q2 敬老パスで利用する交通機関は?(複数回答可)

- ①バス ②地下鉄 ③シーサイドライン ④バスと地下鉄の両方

Q3 敬老パスの良い点、効果があると思うことは?(複数回答可)

- ①外出が増えた ②交通費軽減 ③健康増進 ④介護の予防  
⑤マイカーの軽減 ⑥消費経済効果 ⑦まちの活性化 ⑧公共交通の利用拡大

Q4 敬老パスの負担額は?

- ①もっと高くてもいい ②現行のままでいい ③負担が高すぎる

### 70歳未満の方へ

Q5 敬老パスを知っていますか? →①知っている ②知らない

Q6 対象年齢になったら利用しますか? →①現行制度なら使う ②負担増でも使う ③必要ない ④その他( )

横浜市へのご意見をご自由にお書きください

FAX送信先366-9700古川なおき政務調査事務所

差しつかえない範囲でご記入をお願いします

お名前

ご住所

電話